

MEE

受付案内システム

形名

CA-15TEH2

CA-17CDH

CA-15KEH

CA-15MOH3

CA-15TEH2-M

カスタマイズ説明書

コン コン コール
Computer Conducting Call System

本説明書はシステムメンテナンスの詳細を説明したものです。

日常のお取り扱い等は、取扱説明書に記載していますので、そちらを参照してください。

目次

1	ご使用になる前に	1
1)	コンコンコール システムメンテナンスとは.....	1
2)	カスタマイズによる空き容量について.....	1
2	システムメンテナンス	2
1)	システムメンテナンス画面.....	2
◆	起動方法.....	2
◆	メニューバー.....	2
◆	ツールバー.....	3
◆	操作方法.....	3
2)	Database フォルダ(画面、BGM、動画等の設定).....	4
◆	Backgrounds(背景)フォルダ.....	4
◆	BGM(環境音楽)フォルダ.....	4
◆	BGVs(環境動画)フォルダ.....	5
◆	Elements(画面要素)フォルダ.....	5
◆	Forms(画面)フォルダ.....	11
◆	HTMLs(Web ページ)フォルダ.....	12
◆	Images(画像)フォルダ.....	12
◆	Sections(内線データ)フォルダ.....	13
◆	Sounds(効果音)フォルダ.....	13
3)	Plugins フォルダ(グラフィック描写 dll).....	14
4)	Settings フォルダ(システム設定).....	14
5)	パラメータ設定における補足事項.....	16
◆	イベント処理.....	16
◆	スクリプト.....	17
◆	コマンド一覧.....	17
◆	システム変数.....	26
6)	カスタマイズにおける補足事項.....	28
◆	Forms の対応画面について.....	28
◆	Elements(画面要素)、HTMLs(Web)の配置位置について.....	29
3	お手持ちのパソコンでデータをメンテナンスする	30
◆	メンテナンスツールのインストール.....	30
◆	USBメモリ等を使用する場合.....	31
◆	ネットワークに接続している場合.....	33
4	コンコンコールのカスタマイズ例	34
1)	名前で検索機能を無効にする.....	34
2)	無人時に省電力モードで待機する.....	34
3)	メニュー画面のボタン名称を変更する.....	35
4)	言語選択ボタンを追加して多言語対応にする.....	36
5)	タイトル画面の組織名をロゴ(画像)に変更する.....	37
6)	画面にメッセージを追加する.....	38
7)	動画を変更する.....	39

1 ご使用になる前に

1) コンコンコール システムメンテナンスとは

表示される文章の変更、ボタンの色の変更、背景・BGM の変更など、お客様独自でシステムの設定を変更する時に使用します。

設定変更は、コンコンコール システムメンテナンス(以下システムメンテナンス)を使用します。

お願い： システムメンテナンスにはコンコンコールの動作に関わる内容が数多く登録されています。不用意に内容を変更されますとコンコンコールが正常に動作しなくなる恐れがあります。本書に書かれている内容を十分理解した上で操作してください。

2) カスタマイズによる空き容量について

データを追加することによりデータベースファイルのサイズが大きくなります。データベースファイルの最大サイズは、CF カードにデータベースファイルのサイズの2倍以上の空き容量を確保できるサイズまでとしてください。空き容量が少ないと動作不良の原因となります。

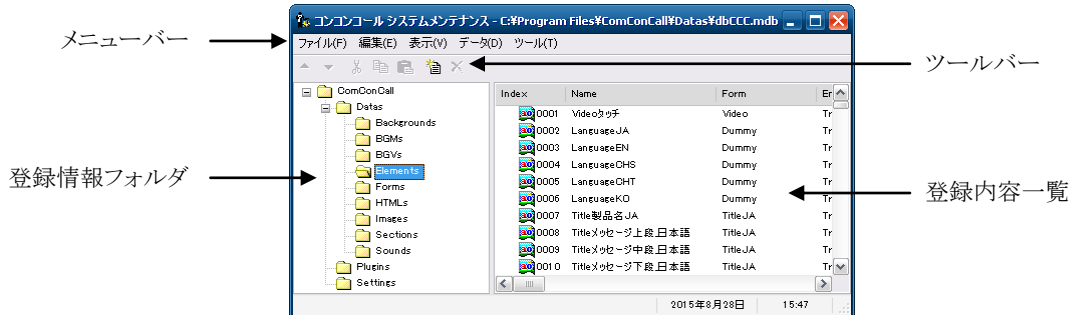
特に動画、背景、音声を追加する場合は空き容量に注意してください。

例) データベースファイルサイズが 200MB の場合、 $200\text{MB} \times 2 \text{ 倍} = 400\text{MB}$ の空き容量が必要です。

2 システムメンテナンス

1) システムメンテナンス画面

コンコンコールのカスタマイズは、システムメンテナンス画面を使用します。



◆ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- デSKTOP上の「コンコンコール 6.1 管理メニュー」ショートカットアイコン(👤)を実行し、**コンコンコール システムメンテナンス** を選択します。
- Windowsの「スタート」メニューから **すべてのプログラム(P) - コンコンコール Ver6.1 - コンコンコール6.1 システムメンテナンス** を選択します。

◆ メニューバー

ファイル(F)

- 外部データベース書き出し(バックアップ)...** ...外部のデータベースへデータのコピーを作成します。
- 外部データベース取り込み(復旧)...** ...外部のデータベースファイルからデータを取り込みます。
- データベースの修復(R)** ...データベースを修復します。
- システムメンテナンスの終了(X)** ...システムメンテナンス画面を終了します。

編集 (E)

- 切り取り (T)** ...選択しているデータを切り取ります。
- コピー (C)** ...選択しているデータをコピーします。
- 貼り付け (P)** ...コピーしたデータを貼り付けます。

表示 (V)

- ツールバー(T)** ...ツールバーの表示/非表示を設定します。
- ステータスバー (B)** ...ステータスバーの表示/非表示を設定します。
- バージョン情報 (A)** ...バージョン情報を表示します。







データ(D)

- 新規作成(N)** ...データを新規作成します。
- 削除(X)** ...選択しているデータを削除します。
- 上へ (U)** ...選択しているデータを上に移動します。
- 下へ (D)** ...選択しているデータを下に移動します。




ツール(T)

- インポート(I)** テキストファイルを選択されているフォルダに取り込みます。
- エクスポート(E)** 選択されているフォルダの内容をテキストファイルとして出力します。

◆ ツールバー

-  対象データの順序を変更します。
-  対象データを切り取ります。
-  対象データをコピーします。
-  切り取りまたはコピーしたデータを貼り付けます。
-  データを新規作成します。
-  対象データを削除します。

◆ 操作方法

- ① 登録情報フォルダの中から目的のフォルダを選択します。
- ② 新しい項目を追加する場合は、**データ(D)－新規作成(N)** を選択します。(またはツールバーの  をクリックします。)
- ③ 既存の項目の内容を変更する場合は、登録内容一覧に表示されている目的のアイコンをダブルクリックまたはキーボードの **[Enter]** キーを押し、登録内容一覧画面を表示させます。
- ④ 既存の項目を削除する場合は、**データ(D)－削除(X)** を選択します。(またはツールバーの  をクリックします。)
- ⑤ 登録内容の順序を変える場合は、**データ(D)－上へ(U)** または **データ(D)－下へ(D)** を選択します。(またはツールバーの  をクリックします。)

2) Database フォルダ(画面、BGM、動画等の設定)

◆ Backgrounds(背景)フォルダ

タイトル画面に表示される背景です。スタンダードの場合、背景は日替わりで登録されている順に表示されます。毎月1日～31日まで自然(山、滝、花)の背景をお好みに応じて変更できます。



項目	説明
Name	識別名を設定します。省略可能です。
Stretch	背景の表示方法を指定します。チェックすると画像を画面全体に表示します。チェックしない場合、画像は登録されている大きさと画面全体に並べ敷き詰めます。
Month	背景を表示させる月を指定します。チェックを外すとその月は表示されません。
Image	登録される背景のイメージです。実際に登録されている大きさと異なります。
参照...	“ファイルを開く”ダイアログボックスを表示させ登録・変更する画像ファイルを選択します。選択できる画像ファイルは、Windows ビットマップファイル又は JPEG、PNG 形式です。

◆ BGM(環境音楽)フォルダ

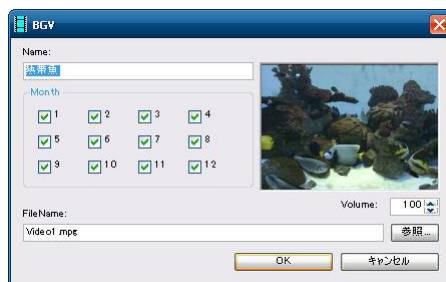
タイトル画面・動画画面で再生される音楽(環境音)です。




項目	説明
Name	識別名を設定します。省略可能です。
Month	BGMを再生させる月を指定します。チェックを外すとその月は再生されません。
参照...	“ファイルを開く”ダイアログボックスを表示させ登録・変更する音楽ファイルを選択します。選択できる音楽ファイルは、Windows WAV ファイル形式です。
再生...	登録されている音楽データを再生します。
Volume	BGMの音量を設定します。

◆ BGVs(環境動画)フォルダ

動画画面で再生される動画です。複数の動画を登録することで、日替りで違った動画を再生します。

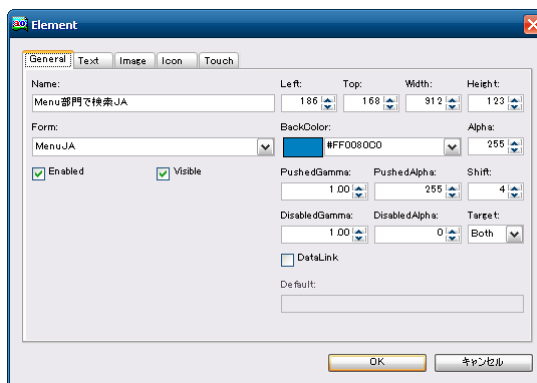


項目	説明
Name	識別名を設定します。
Month	動画を再生させる月を指定します。チェックを外すとその月は再生されません。
Volume	動画の音量を設定します。
FileName	動画ファイルのファイル名を指定します。絶対パスで指定も可能です。
 参照...	“ファイルを開く”ダイアログボックスを表示させ登録・変更する動画ファイルを選択します。選択する動画ファイルは、あらかじめ mpeg1 形式*で C:\¥Program Files¥ComConCall¥Data フォルダに保存しておきます。

※注意:動画ファイルは mpeg1 形式のみ動作保証しております。他の形式の動画ファイルはご使用にならないでください。画面のフリーズやシステムファイル破損の原因となります。

◆ Elements(画面要素)フォルダ

画面を構成するメッセージや画像などの画面要素です。また、コンコンコールの実行中にここで登録した画面要素がタッチされたときの動作を記述することができます。



設定項目は機能毎にタブで以下のようにグループ化されています。

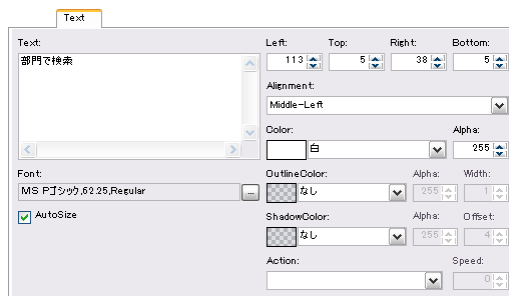
グループ(タブ)	説明
General	画面要素の基本的な情報です。
Text	表示する文字や文章に関する情報です。
Image	画面要素の背景となる画像の情報です。
Icon	Text や Image より前面に表示する画像(アイコン)に関する情報です。
Touch	画面要素がタッチされたときの動作に関する情報です。


• General タブ

項目	説明
Name	識別名を設定します。
Form	画面要素を表示する画面の名前(Name)を指定します。▼をクリックし一覧より選択してください。
Enabled	画面要素の有効・無効を設定します。チェックが無い場合 Event の機能が無効化されます。また表示は Disabled から始まる項目の値が適用されます。
Visible	この画面要素を表示するかないかを設定します。チェックの無い場合画面には何も表示されず、画面タッチに対し Event に登録されたスクリプトも実行されません。
Left	画面要素の表示横位置をピクセル単位で指定します。(0~1279) ※1
Top	画面要素の表示縦位置をピクセル単位で指定します。(0~1023) ※1
Width	画面要素の幅をピクセル単位で指定します。(1~1280) ※1
Height	画面要素の高さをピクセル単位で指定します。(1~1024) ※1
BackColor	画面要素の表示範囲を塗りつぶす背景色を指定します。Image 項目が設定されている場合画像にここで指定された色のフィルタがかけられます。右側の▼をクリックすると、“色の指定”ダイアログボックスが開きますので、一覧の中から目的の色を選択します。Alpha にて塗りつぶす背景色の透明度を 1~255 の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。
PushedGamma	画面要素がタッチされたときの基本的な文字や画像の明るさを-2.0~2.0 の範囲で設定します。数値が 0 に近づくほど暗くなります。
PushedAlpha	画面要素がタッチされたときの基本的な文字や画像の透明度を 0~255 の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。
Shift	画面要素がタッチされたときの基本的な文字や画像の表示位置ズレ幅を設定します。
DisabledGamma	画面要素が無効化されているときの基本的な文字や画像の明るさを-2.0~2.0 の範囲で設定します。数値が 0 に近づくほど暗くなります。
DisabledAlpha	画面要素が無効化されているときの基本的な文字や画像の透明度を 0~255 の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。
Target	画面要素が無効化されているときの表示を文字などの前景 (Fore)かイメージなどの背景かまたは両方 (Both)かを指定します。
DataLink	Sections (内線データ)と関連付けるかどうかを設定します。同一画面上に複数の内線データと関連付けられた画面要素が存在する場合、Index の数字が小さいものから順に内線データのレコードが割り当てられます。内線データの内容は変数として設定され、スクリプトやその他のパラメータで利用することができます。変数に関する詳細は「2.5)パラメータ設定における補足事項」の「システム変数」を参照してください。
Default	Sections (内線データ)と関連付けした時のデータ抽出条件を設定します。この値を設定すると、データ抽出条件に合うデータが存在しない場合に画面要素は無効化されます。

※1 範囲外に指定した場合は、画面要素が表示されません。範囲内で指定してください。15 インチモデルは 1024×768 ピクセルにリサイズして表示されます。

• Text タブ

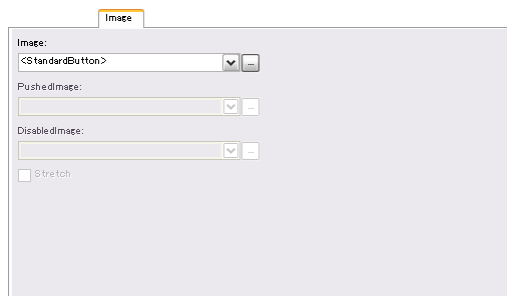


項目	説明																																												
Text	<p>表示する文字列を設定します。文字列は配置属性や文字属性を指定して自由なレイアウトをすることができます。関連付けされた内線データの内容や変数を表示することができます。変数に関する詳細は「2.4) Settings フォルダ(システム設定)」や「2.5) パラメータ設定における補足事項」を参照してください。</p> <p>配置属性及び文字属性は「<属性名=値>」のように「<>」で囲んで指定します。カンマ(,)により複数の属性を指定することができます。配置属性の場合は「<Layout 属性名=値>」のように「Layout」を先頭に追加します。</p> <p>以下に使用できる配置属性及び文字属性を示します。</p>																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>属性名</th> <th>配置属性</th> <th>文字属性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Alignment</td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> <td>文字列の描画範囲内での配置を設定します。指定できる値は Left、Center、Right、Top、Middle、Bottom 及びこれらの文字列の組み合わせです。</td> </tr> <tr> <td>Left</td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> <td>文字列を配置する左端を画面要素の左端からの距離で指定します。</td> </tr> <tr> <td>Top</td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> <td>文字列を配置する上端を画面要素の上端からの距離で指定します。</td> </tr> <tr> <td>Right</td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> <td>文字列を配置する右端を画面要素の右端からの距離で指定します。</td> </tr> <tr> <td>Bottom</td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> <td>文字列を配置する下端を画面要素の下端からの距離で指定します。</td> </tr> <tr> <td>Font</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td>文字列のフォント名を指定します。</td> </tr> <tr> <td>Size</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td>文字列のサイズを指定します。</td> </tr> <tr> <td>Bold</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td>文字列を太字にするかどうかを True または False で指定します。</td> </tr> <tr> <td>Italic</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td>文字列を斜体にするかどうかを True または False で指定します。</td> </tr> <tr> <td>Color</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td>文字列の色 (Black、Red 等の色名または # から始まる8桁または6桁の16進数) を指定します。</td> </tr> </tbody> </table>	属性名	配置属性	文字属性	説明	Alignment	<input type="radio"/>		文字列の描画範囲内での配置を設定します。指定できる値は Left、Center、Right、Top、Middle、Bottom 及びこれらの文字列の組み合わせです。	Left	<input type="radio"/>		文字列を配置する左端を画面要素の左端からの距離で指定します。	Top	<input type="radio"/>		文字列を配置する上端を画面要素の上端からの距離で指定します。	Right	<input type="radio"/>		文字列を配置する右端を画面要素の右端からの距離で指定します。	Bottom	<input type="radio"/>		文字列を配置する下端を画面要素の下端からの距離で指定します。	Font	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列のフォント名を指定します。	Size	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列のサイズを指定します。	Bold	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列を太字にするかどうかを True または False で指定します。	Italic	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列を斜体にするかどうかを True または False で指定します。	Color	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列の色 (Black、Red 等の色名または # から始まる8桁または6桁の16進数) を指定します。
属性名	配置属性	文字属性	説明																																										
Alignment	<input type="radio"/>		文字列の描画範囲内での配置を設定します。指定できる値は Left、Center、Right、Top、Middle、Bottom 及びこれらの文字列の組み合わせです。																																										
Left	<input type="radio"/>		文字列を配置する左端を画面要素の左端からの距離で指定します。																																										
Top	<input type="radio"/>		文字列を配置する上端を画面要素の上端からの距離で指定します。																																										
Right	<input type="radio"/>		文字列を配置する右端を画面要素の右端からの距離で指定します。																																										
Bottom	<input type="radio"/>		文字列を配置する下端を画面要素の下端からの距離で指定します。																																										
Font	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列のフォント名を指定します。																																										
Size	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列のサイズを指定します。																																										
Bold	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列を太字にするかどうかを True または False で指定します。																																										
Italic	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列を斜体にするかどうかを True または False で指定します。																																										
Color	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列の色 (Black、Red 等の色名または # から始まる8桁または6桁の16進数) を指定します。																																										
Font	文字列を表示するフォントの名前、サイズ、スタイルを表示します。右側の  をクリックしてフォントの設定ダイアログから文字列を表示するフォントを設定します。																																												
AutoSize	文字列が表示範囲内に収まらない場合、表示範囲に収まるよう自動的に文字列を縮小するかどうかを設定します。表示範囲内に収まるかどうかの計算は Text 内の配置属性単位に行われます。																																												

2.システムメンテナンス

項目	説明
Left	文字列を配置する左端を画面要素の左端からのピクセル数で指定します。
Top	文字列を配置する上端を画面要素の上端からのピクセル数で指定します。
Right	文字列を配置する右端を画面要素の右端からのピクセル数で指定します。
Bottom	文字列を配置する下端を画面要素の下端からのピクセル数で指定します。
Alignment	文字列の描画範囲内での配置を設定します。▼をクリックし一覧より選択します。
Color	文字列の色を指定します。右側の▼をクリックすると、“色の指定”ダイアログボックスが開きますので、一覧の中から目的の色を選択します。 Alphaにて文字列の色の透明度を1~255の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。
OutlineColor	文字列の縁取りの色を指定します。右側の▼をクリックすると、“色の指定”ダイアログボックスが開きますので、一覧の中から目的の色を選択します。 Alphaにて縁取りの色の透明度を1~255の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。 Widthにて縁取りの幅を指定します。
ShadowColor	文字列の影の色を指定します。右側の▼をクリックすると、“色の指定”ダイアログボックスが開きますので、一覧の中から目的の色を選択します。 Alphaにて影の色の透明度を1~255の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。 Offsetにて文字列と影の距離を指定します。
Action	文字列の動きを指定します。▼をクリックし一覧より選択してください。指定できる表示動作は以下のようになっています。 <ul style="list-style-type: none">• <指定なし> ……文字列の動きはありません。• HScroll ……文字列を右から左へスクロールして表示します。• VScroll ……文字列を下から上へスクロールして表示します。• Blink ……文字列を点滅させて表示します。 Speedにて文字列の動きの速さを指定します。

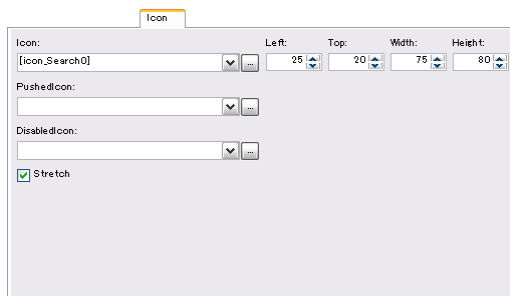
- Image タブ



項目	説明
Image	<p>表示する画像の識別名を設定します。識別名は Images フォルダに登録したデータを参照する場合は角括弧「<code>[]</code>」で囲みます。それ以外は直接ファイルとして参照されますので、コンコンコールのデータベースが存在するパスからの相対パスで指定します。</p> <p>頻繁に使用する画像は Images フォルダに登録することをお勧めいたします。これを参照することでシステムのパフォーマンスを向上させることができます。</p> <p>▼ をクリックすると Images フォルダに登録されている画像が一覧表示されますので、ここから選択することが可能です。右側の ... をクリックするとファイルを開くダイアログが開きますのでここから画像ファイルを選択することが可能です。</p>
PushedImage	画面要素がタッチされたとき表示する画像の識別名を設定します。設定方法は Image 項目と同様です。
DisabledImage	画面要素が無効のとき表示する画像の識別名を設定します。設定方法は Image 項目と同様です。
Stretch	画像を画面要素の表示領域に合わせ引き伸ばして表示するかどうかを設定します。

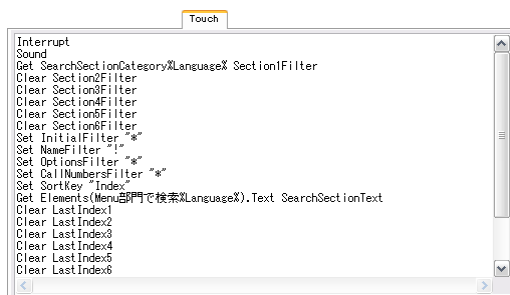
2.システムメンテナンス

• Icon タブ



項目	説明
Icon	表示するアイコンの識別名を設定します。識別名は Images フォルダに登録したデータを参照する場合は角括弧「[]」で囲みます。それ以外は直接ファイルとして参照されますので、コンコンコールのデータベースが存在するパスからの相対パスで指定します。 頻繁に使用する画像は Images フォルダに登録することをお勧めいたします。これを参照することでシステムのパフォーマンスを向上させることができます。 ▼をクリックすると Images フォルダに登録されている画像が一覧表示されますので、ここから選択することが可能です。右側の [...] をクリックするとファイルを開くダイアログが開きますのでここから画像ファイルを選択することが可能です。
PushedIcon	画面要素がタッチされたとき表示するアイコンの識別名を設定します。設定方法は Icon 項目と同様です。
DisabledIcon	画面要素が無効のとき表示するアイコンの識別名を設定します。設定方法は Icon 項目と同様です。
Stretch	アイコンをアイコンの表示領域に合わせ引き伸ばして表示するかどうかを設定します。
Left	アイコンの表示横位置を画面要素の左端からのピクセル数で指定します。
Top	アイコンの表示縦位置を画面要素の上端からのピクセル数で指定します。
Width	アイコンの幅をピクセル単位で指定します。
Height	アイコンの高さをピクセル単位で指定します。

• Touch タブ

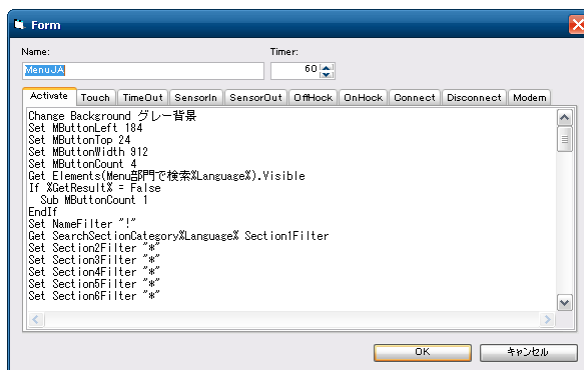


項目	説明
Touch	画面要素がタッチされた時の動作を指定するスクリプトを記述します。記述の方法や動作の種類など詳しくは「 2.5) パラメータ設定における補足事項 」の「 スクリプト 」を参照してください。

◆ Forms(画面)フォルダ

画面コンテンツの各ページを設定します。画面が表示されているときに発生するイベントがタブで分類されていますので、ここに各イベントに応じたスクリプトを設定します。

スクリプトの記述の方法や動作の種類など詳しくは「2.5)パラメータ設定における補足事項」の「スクリプト」を参照してください。



項目	説明																						
Name	識別名を設定します。																						
Timer	ここに設定された秒数分、外部からの入力が無かった場合、後述の TimeOut イベントが発生します。0 に設定した場合、もしくは TimeOut に何も設定されていない場合無効となります。																						
イベントタブ	各イベントが発生したときに実行するスクリプトを記述します。設定できるイベントは以下の通りです。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Activate</td> <td>画面(ページ)が表示されたときに発生します。</td> </tr> <tr> <td>Touch</td> <td>画面にタッチされたときに発生します。</td> </tr> <tr> <td>TimeOut</td> <td>Timer で設定された秒数分、外部からの入力が無かったとき発生します。</td> </tr> <tr> <td>SensorIn</td> <td>人感センサーが感知したとき発生します。</td> </tr> <tr> <td>SensorOut</td> <td>人感センサーが感知しなくなったとき発生します。</td> </tr> <tr> <td>OffHook</td> <td>受話器を取ったとき発生します。</td> </tr> <tr> <td>OnHook</td> <td>受話器を置いたとき発生します。</td> </tr> <tr> <td>Connect</td> <td>呼び出し先の相手が電話に出たとき(回線の極性が反転したとき)発生します。(オプション機能)</td> </tr> <tr> <td>Disconnect</td> <td>通話が切断したとき(回線の極性が元に戻ったとき)発生します。(オプション機能)</td> </tr> <tr> <td>Modem</td> <td>モデムからの応答があったとき発生します。</td> </tr> </tbody> </table>	イベント	説明	Activate	画面(ページ)が表示されたときに発生します。	Touch	画面にタッチされたときに発生します。	TimeOut	Timer で設定された秒数分、外部からの入力が無かったとき発生します。	SensorIn	人感センサーが感知したとき発生します。	SensorOut	人感センサーが感知しなくなったとき発生します。	OffHook	受話器を取ったとき発生します。	OnHook	受話器を置いたとき発生します。	Connect	呼び出し先の相手が電話に出たとき(回線の極性が反転したとき)発生します。(オプション機能)	Disconnect	通話が切断したとき(回線の極性が元に戻ったとき)発生します。(オプション機能)	Modem	モデムからの応答があったとき発生します。
イベント	説明																						
Activate	画面(ページ)が表示されたときに発生します。																						
Touch	画面にタッチされたときに発生します。																						
TimeOut	Timer で設定された秒数分、外部からの入力が無かったとき発生します。																						
SensorIn	人感センサーが感知したとき発生します。																						
SensorOut	人感センサーが感知しなくなったとき発生します。																						
OffHook	受話器を取ったとき発生します。																						
OnHook	受話器を置いたとき発生します。																						
Connect	呼び出し先の相手が電話に出たとき(回線の極性が反転したとき)発生します。(オプション機能)																						
Disconnect	通話が切断したとき(回線の極性が元に戻ったとき)発生します。(オプション機能)																						
Modem	モデムからの応答があったとき発生します。																						

2.システムメンテナンス

◆ HTMLs(Web ページ)フォルダ

画面に表示する任意の Web ページを設定します。パソコンがネットワークに接続されていれば、会社紹介や製品紹介などのインフォメーションを表示したり、さまざまな Web ページをコンコンコール上に表示したりすることができます。



項目	説明
Name	識別名を設定します。
Form	Web ページを表示する画面の名前(Name)を指定します。コンボボックスの一覧の中から選択して下さい。指定が無い場合、画像は表示されません。
Left	Web ページ表示領域の表示横位置をピクセル単位で指定します。(0～1279) ※1
Top	Web ページ表示領域の表示縦位置をピクセル単位で指定します。(0～1023) ※1
Width	Web ページ表示領域の幅をピクセル単位で指定します。(1～1280) ※1
Height	Web ページ表示領域の高さをピクセル単位で指定します。(1～1024) ※1
URL	Web ページへの URL を指定します。ローカルファイルを指定することもできますので、インターネットに接続することなく Web ページを表示することができます。

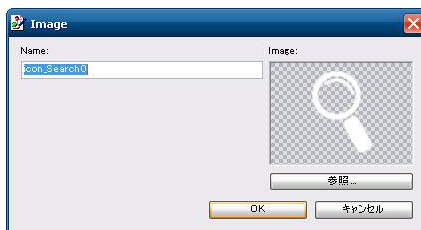
参照...

“ファイルを開く”ダイアログボックスを表示させ登録・変更する HTML ファイルを選択します。選択する HTML ファイルは、ローカルディスクに保存されているものに限りです。

※1 範囲外に指定した場合は、画面要素が表示されません。範囲内で指定してください。15 インチモデルは 1024×768 ピクセルにリサイズして表示されます。

◆ Images(画像)フォルダ

画面に表示する任意の画像を設定します。ボタンの画像や会社のロゴなど頻繁に使用する画像を登録します。



項目	説明
Name	登録データ一覧表示でデータを識別するために設定します。
Image	登録する(してある)画像のイメージです。実際に登録されている大きさは異なります。

参照...

“ファイルを開く”ダイアログボックスを表示させ登録・変更する画像ファイルを選択します。選択できる画像ファイルは、Windows ビットマップファイル又は JPEG、PNG 方式です。

◆ Sections(内線データ)フォルダ

内線データに関する情報を登録します。この情報は画面要素での内線データとの関連付けに利用されます。

項目	説明
Name	内線データの名称を設定します。内線データ変数の%Name%で表されます。指定が無い場合登録することはできません。
Initial	内線データのフリガナを設定します。内線データ変数の%Initial%で表されます。
Section n	内線データの上位階層を設定します。内線データ変数の%Section n %で表されます。
Color	内線データのボタンの色を設定します。右側の▼をクリックすると、“色の指定”ダイアログボックスが開きますので、一覧の中から目的の色を選択します。 Alphaにて文字列の色の透明度を0~255の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。
CallNumber	内線データの内線番号を設定します。内線データ変数の%CallNumber%及び%CallNumbers%で表されます。
Options	内線データの追加情報を設定します。内線データ変数の%Option%及び%Options%で表されます。
EffectiveDate	内線データを有効にする日時を指定します。空白は現在有効な内線データです。データメンテナンスにて2013年4月1日0時に更新予約をすると、2013/04/01 00:00:00というフォーマットでデータが入ります。

◆ Sounds(効果音)フォルダ

各画面で再生される効果音、アナウンスなどの音声データを設定します。

項目	説明
Name	識別名を設定します。
	“ファイルを開く”ダイアログボックスを表示させ登録・変更する効果音ファイルを選択します。選択する効果音ファイルは、予めWindows WAVファイル形式で保存しておきます。
	登録されている効果音データを再生します。

3) Plugins フォルダ(グラフィック描写 dll)

画面要素を描写する dll ファイルが登録されています。(画面デザインがスタンダードの場合は登録されていません)



4) Settings フォルダ(システム設定)

コンコンコールが動作するための基本的な情報が登録されています。ここに登録されたデータはスクリプト中で変数として参照することができます。

変更内容によってはコンコンコールが起動しなくなることもありますので、不用意に変更することは避けてください。登録内容を変更される場合は各項目の意味をよく理解した上で行ってください。

名前	種類	値
CommPort	システム	0
CompanyNameCHS	システム	三菱电机工程有限公司
CompanyNameCHT	システム	三菱电机工程有限公司
CompanyNameEN	システム	Mitsubishi Electric Engineering Co.,Ltd.
CompanyNameJA	システム	三菱电机エンジニアリング株式会社
CompanyNameKO	システム	미쓰비시 전기 엔지니어링 (주)
LineAssortment	システム	PB
SensorSensitivity	システム	20

登録される情報はシステム設定用のデータと(一覧の種類欄に「システム」と表示)、カスタマイズなどで使用するユーザー定義のデータ(一覧の種類欄に「ユーザー」と表示)があります。

以下にシステム設定用に予約されたデータを示します。

名前	値の説明
AutoReboot	システムの自動再起動の間隔を1日(Day)、1週間(Week)、無し(None)の何れかで設定します。
AutoRebootTime	システムの自動再起動を行う時間を設定します。
BGMSource	現在は使用しません。(旧バージョンのシステムで使用)
ButtonShadowAlpha	画面に表示するボタンの影の透明度(0:透明~255:不透明)を設定します。
CallbackDoorOpen	内線電話の着信による接点出力の有効(True)/無効(False)を設定します。
CallLogDBFilename	通話履歴データを保存するデータベースのパスを設定します。
CommPort	インターフェイスボードと通信するポート番号を設定します。インターフェイスボードを使用しない場合は0を設定します。
CommPort2	本体に内蔵されたオプションのインターフェイスボードと通信するポート番号を設定します。オプションのインターフェイスボードを使用しない場合は0を設定します。
CompanyName	現在は使用しません。(旧バージョンのシステムで使用)
CompanyNameE	現在は使用しません。(旧バージョンのシステムで使用)
CompanyNameJA	日本語表記のタイトル画面に表示される会社名(組織名)を設定します。
CompanyNameEN	英語表記のタイトル画面に表示される会社名(組織名)を設定します。
CompanyNameCHS	簡体中国語表記のタイトル画面に表示される会社名(組織名)を設定します。
CompanyNameCHT	繁体中国語表記のタイトル画面に表示される会社名(組織名)を設定します。
CompanyNameKO	韓国語表記のタイトル画面に表示される会社名(組織名)を設定します。
ConnectSensitivity	極性反転検知センサーの反応速度をミリ秒単位で設定します。極性反転検知を使用しない場合は0を設定します。
ContactControlAssign	接点出力に使用する制御信号をDTR、RTSの何れかで設定します。
ContentsResolution	画面コンテンツの解像度を1280×1024(17インチ用SXGA)、1024×768(15インチ用XGA)、800×600(12インチ用SVGA)の何れかで設定します。

名前	値の説明
ContinuousPlayback	動画の繰り返し再生の有効(True)/無効(False)を設定します。
CurrentSensorEnabled	極性反転検知センサーの種類が電流検知の場合は True、電圧検知の場合は False を設定します。
DataUpdateReservationEnabled	データ更新予約の有効(True)/無効(False)を設定します。
DetectLineReverse	回線の極性反転検出機能の有効(True)/無効(False)を設定します。(オプション)
DialDeregulation	発信規制を解除する(True)/しない(False)を設定します。
EventLogEnabled	動作ログを出力する(True)/出力しない(False)を設定します。
EXSensorEnabled	オプションのセンサー入力の有効(True)/無効(False)を設定します。
FileName	現在は使用しません。(旧バージョンのシステムで使用)
FlipEffectSpeed	画面の切り替え効果アニメーションのコマ数を指定します。
HockSensorEnabled	現在は使用しません。(旧バージョンのシステムで使用)
IFBoardType	使用するインターフェイスボードのタイプを CA-B-8/CA-B-9 の何れかで設定します。
LineAssortment	接続されている電話回線のダイヤル方式をプッシュトーン(PB)、ダイヤルパルス(DP10 または DP20)の何れかで設定します。
MenuType	カスタマイズ対応用に予約されています。(ライトタイプのメニュー画面のボタン配置パターン設定用として使用)
ModemInitialize	モデムの初期化用 AT コマンドを設定します。
MuteBGM	カスタマイズ対応用に予約されています。
MuteGuidance	カスタマイズ対応用に予約されています。
MuteTouch	カスタマイズ対応用に予約されています。
NoStatusWindow	起動画面(ステータスウィンドウ)の表示(True)/非表示(False)を設定します。
OffHockSensitivity	受話器のフック検知センサーの反応速度をミリ秒単位で設定します。受話器のフック検知を使用しない場合は 0 を設定します。
OutputContactA	カスタマイズ対応用に予約されています。
OutputContactB	カスタマイズ対応用に予約されています。
OutputContactC	カスタマイズ対応用に予約されています。
PhoneNumber	カスタマイズ対応用に予約されています。
RegulationNumber	発信規制をする番号を設定します。
ScheduleEnabled	スケジュール運転管理の有効(True)/無効(False)を設定します。
SectionsSeparator	システム変数「Sections」で区切りに使用する文字を設定します。
SectionsStartLevel	システム変数「Sections」で結合を開始する Section の階層を設定します。
SendIOStatusInterval	ネットワーク通信でインターフェイスボードの各センサーの状態を送出する間隔をミリ秒単位で設定します。
SensorSensitivity	人感センサーの反応速度がミリ秒単位で設定します。人感センサーを使用しない場合は 0 を設定します。
ServerPort	ネットワーク通信を行う TCP ポート番号を設定します。
ShowCursor	マウスカーソルを常時表示する(True)/しない(False)を設定します。
StoragePath	カスタマイズ対応の為に予約されています。
SystemShutdownEnabled	スケジュール運転管理が有効な場合にシステム(OS)シャットダウンの有効(True)/無効(False)を設定します。

名前	値の説明
SystemPassword	システム稼動時に 3 隅タッチにより表示されるシステムメニューを表示するためのパスワードを指定します。(システムメニューからパスワードを変更した場合に表示されず。システムメニューについては取扱説明書「2.3」画面の3点タッチ(システムメニュー)」を参照してください。)
UserID	カスタマイズ対応の為に予約されています。
UserPassword	カスタマイズ対応の為に予約されています。

注意: 登録されていないシステム設定用のデータは新規作成することで内容の確認及び変更が可能となります。

5) パラメータ設定における補足事項

◆ イベント処理

コンコンコールでは画面にタッチされた時や画面が切り替わった時、人感センサーや回線の状態が変化した時などに「イベント」が発生します。イベントが発生するとそのイベントに対応する **Form** (画面) と **Element** (画面要素) に設定された「スクリプト」が実行されます。

発生するイベントと対応する **Forms** (画面) および **Element** (画面要素) の項目の一覧を以下に示します。

イベントの発生するタイミング	実行されるスクリプトを設定する項目	
Form (画面) が読み込まれた時に発生。	Form (画面)	Activate
画面をタッチ(クリック)された時に発生。(タッチされた場所に Element(画面要素)がない、または Element(画面要素)の Touch 項目に登録が無い場合に限る)	Form (画面)	Touch
無操作状態が Form (画面) の Timer で指定された時間経過した時に発生。	Form (画面)	TimeOut
人感センサーが検知した時に発生。	Form (画面)	SensorIn
人感センサーが検知しなくなった時に発生。	Form (画面)	SensorOut
受話器を取り上げた時に発生。	Form (画面)	OffHock
受話器を置いた時に発生。	Form (画面)	OnHock
内線電話の呼び出しに相手が出た時(極性反転検出時)に発生。	Form (画面)	Connect
内線電話の通話中に相手が切った時(極性反転非検出時)に発生。	Form (画面)	Disconnect
モデムからの応答を受信したときに発生。	Form (画面)	Modem
画面上の Element(画面要素)をタッチ(クリック)された時に発生。	Element(画面要素)	Touch

◆ スクリプト

スクリプトは複数のコマンド行が記述されたテキストデータであり、コマンド行は 1 つのコマンドとそのコマンドに必要な複数のパラメータで構成されます。一般的なコマンド行の書式は以下の通りです。

[コマンド名]_[パラメータ 1]_[パラメータ 2]_[パラメータ 3]...

- ・ コマンド行のコマンドと各パラメータは空白文字列で区切って記述します。但しコマンド行の先頭にある空白文字列は無視されます。
- ・ コマンドの先頭がセミコロン(「;」)で始まるコマンド行はコメントとして扱われ実行されません。
- ・ コマンド及びパラメータには変数を使用することができます。変数は変数名をパーセント記号(「%」)で囲むことで実行時にその変数の値に置き換えられ実行されます。また、DataLink により内線データと関連付けられた Element(画面要素)に設定するスクリプトでは、内線データの項目名を波括弧(「{ }」)で囲むことでその内線データの項目の値に置き換えられます。

◆ コマンド一覧

スクリプト中に使用できるコマンドの一覧を以下に示します。

コマンド

パラメータ	説明
Add	変数の値に指定された数値を加算します。
変数名	対象の変数名を記述します。
値	加算する値を記述します。
BGM	BGM(環境音楽)を再生/停止します。
スイッチ	以下の一覧のいずれかを記述します。 On 音楽(BGM)を再生します。 Off 音楽(BGM)を停止します。
BGV	BGV(環境動画)を再生/停止します。
スイッチ	以下の一覧のいずれかを記述します。 On 動画(BGV)を再生します。 Off 動画(BGV)を停止します。
Calc	既定の計算を実行します。
種類	以下の一覧のいずれかを記述します。 Page 一覧表示において 1 ページあたりパラメータ 1 で指定された数分のデータを表示する場合の総ページ数と現在ページ数を、システム変数「DataCount」とシステム変数「DataIndex」を元に計算し、結果をそれぞれ変数「Pages」と変数「Page」に格納します。
パラメータ	種類の説明で指示された値を記述します。

2.システムメンテナンス

コマンド	
パラメータ	説明
Change	システムの各種状態を変更します。
種類	以下の一覧のいずれかを記述します。
Background	背景画像を Backgrounds (背景) の登録順に従い変更します。 パラメータ 1 で識別名を指定して任意の Background (背景) に変更することができます。(省略可能) パラメータ 2 で色 (Black , Red 等の色名または # から始まる 8桁または 6桁の 16進数) を指定してカラーフィルターとすることができます。(省略可能)
BGM	環境音楽を BGMs (環境音楽) の登録順に従い変更します。 パラメータ 1 で識別名を指定して任意の BGM (環境音楽) に変更することができます。(省略可能)
BGV	環境動画を BGVs (環境動画) の登録順に従い変更します。 パラメータ 1 で識別名を指定して任意の BGV (環境動画) に変更することができます。(省略可能)
BackColor	背景色をパラメータ 1 で指定された色 (Black , Red 等の色名または # から始まる 8桁または 6桁の 16進数) に変更します。
Timeout	現在の Form (画面) の Timer 値をパラメータ 1 で指定された値に変更します。
パラメータ 1	種類の説明で指示された値を記述します。
パラメータ 2	種類の説明で指示された値を記述します。
Clear	変数をクリア (削除) します。
変数名	対象の変数名を記述します。
CloseProcess	Process コマンドによって起動した外部実行モジュールを終了します。
識別名	Process コマンドで指定した識別名を記述します。
CutLeft	変数の値を指定された文字数だけ左から削除します。
変数名	対象の変数名を記述します。
文字数	削除する文字数を記述します。
CutRight	変数の値を指定された文字数だけ右から削除します。
変数名	対象の変数名を記述します。
文字数	削除する文字数を記述します。
Dial	電話回線にダイヤル発信します。
パラメータ	以下の一覧のいずれかを記述します。 (省略) 変数「 CallNumbers 」の値の 1 行目の電話番号へダイヤル発信します。 Next 変数「 CallNumbers 」の値の 2 行目の電話番号へダイヤル発信します。 (電話番号) 指定された電話番号へダイヤル発信します。
Div	変数の値を指定された数値で除算します。
変数名	対象の変数名を記述します。
値	除算する値を記述します。
Else	If コマンドまたは ElseIf コマンドで条件が満たされない場合に実行するコマンド行の始まりを示します。

コマンド	パラメータ	説明
ElseIf		If コマンドで条件が満たされない場合に、再度指定された条件式を評価し、条件が満たされた場合に実行するコマンド行の始まりを示します。条件式の詳細は If コマンドを参照してください。
	パラメータ 1	If コマンドを参照してください。
	比較演算子	If コマンドを参照してください。
	パラメータ 2	If コマンドを参照してください。
EndIf		If コマンド、ElseIf コマンド、Else コマンドにより実行するコマンド行の終わりを示します。
Execute		外部アプリケーションを起動し、終了するまでメインウィンドウを非表示にして待機します。
	ファイル名	外部アプリケーションの実行モジュールファイル名を記述します。
	引数	外部アプリケーションに渡すコマンドライン引数を記述します。
Fix		変数の値の小数点以下を切り捨てます。
	変数名	対象の変数名を記述します。
Get		変数の値を取得し別の変数へ格納します。
	変数名 1	値を取得する変数名を記述します。
	変数名 2	値を格納する変数名を記述します。省略した場合は変数「GetResult」に値を格納します。
GetData		現読み込まれている Sections (内線データ) データからシステム変数「DataIndex」が指すレコードの値を項目名と同名の変数へ格納します。
Halt		インターフェイスボードの各種センサー検知によるイベントの発生を一時的に無効化します。無効化が解除された時点で各種センサーの状態のイベントが発生します。
	種類	以下の一覧のいずれかを記述します。 <ul style="list-style-type: none"> Sensor 人感センサー全てのイベント発生を無効化します。 Sensor1 人感センサー1 のイベント発生を無効化します。 Sensor2 人感センサー2 のイベント発生を無効化します。 Sensor3 人感センサー3 (オプションセンサー) のイベント発生を無効化します。 SensorEX 人感センサー3 (オプションセンサー) のイベント発生を無効化します。 OffHock 受話器のフック検知センサーのイベント発生を無効化します。 OnHock 受話器のフック検知センサーのイベント発生を無効化します。 Handset 受話器のフック検知センサーのイベント発生を無効化します。 Connect 極性反転検知センサーのイベント発生を無効化します。 Disconnect 極性反転検知センサーのイベント発生を無効化します。 Talking 極性反転検知センサーのイベント発生を無効化します。
	時間	無効化する秒数を記述します。
Hide		画面に表示されている各種オブジェクトを非表示にします。
	種類	以下の一覧のいずれかを記述します。 <ul style="list-style-type: none"> Background 背景画像を非表示にします。パラメータは使用しません。 MessageBox ステータスウィンドウを非表示にします。パラメータは使用しません。 Element パラメータで指定された Element (画面要素) を非表示にします。 Screen メインウィンドウを非表示にします。パラメータは使用しません。
	パラメータ	種類の説明で指示された値を記述します。
HideMessageBox		ステータスウィンドウを非表示にします。

コマンド	説明
パラメータ	説明
History	画面表示の記録を操作します。
種類	以下の一覧のいずれかを記述します。
Back	最後に記録された画面を表示します。 パラメータ 1 で画面切り替え効果を指定できます。
Clear	全ての記録をクリア(削除)します。
Go	パラメータ 1 で指定された数だけ記録を遡り画面を表示します。「First」が指定された場合は最初に記録された画面を表示します。 パラメータ 2 で画面切り替え効果を指定できます。
Record	現在表示中の画面を記録します。
パラメータ 1	種類の説明で指示された値を記述します。
パラメータ 2	種類の説明で指示された値を記述します。
HTMLExec	HTML(Web ページ)の HTMLドキュメント(IE コンポーネント)に対しコマンドを実行させます。コマンドの詳細についてはインストールされている Internet Explorer のドキュメントを参照してください。
識別名	対象の HTML(Web ページ)の識別名を記述します。
コマンド	HTMLドキュメントに実行させるコマンドを記述します。
パラメータ	HTMLドキュメントに実行させるコマンドのパラメータを記述します。
If	条件式を評価し、条件が満たされた場合に実行するコマンド行の始まりを示します。条件式の評価は基本的に文字列での比較となりますが、パラメータ 1 とパラメータ 2 が共に数値として認識できる場合は数値としての比較が行われます。
パラメータ 1	パラメータ 2 と比較する任意の値を記述します。
比較演算子	以下の一覧のいずれかを記述します。
=	パラメータ 1 とパラメータ 2 が等しいとき条件を満たします。
==	パラメータ 1 とパラメータ 2 が等しいとき条件を満たします。
<	パラメータ 1 がパラメータ 2 より小さいとき条件を満たします。
>	パラメータ 1 がパラメータ 2 より大きいとき条件を満たします。
<=	パラメータ 1 がパラメータ 2 以下のとき条件を満たします。(=<も可)
>=	パラメータ 1 がパラメータ 2 以上のとき条件を満たします。(=>も可)
!=	パラメータ 1 とパラメータ 2 が異なるとき条件を満たします。
<>	パラメータ 1 とパラメータ 2 が異なるとき条件を満たします。(=><も可)
Like	パラメータ 1 がパラメータ 2 のパターンに一致するとき条件を満たします。 (パターン文字:「*」 0 個以上の文字、「?」 任意の一文字)
パラメータ 2	パラメータ 2 と比較する任意の値を記述します。
Interrupt	イベント発生時に実行途中のスクリプトに割り込み、このコマンド以降のスクリプトを実行します。
パラメータ 1	以下の一覧のいずれかを記述します。
(省略)	イベント発生前に未実行であったスクリプトを破棄します。
Keep	このコマンドが実行された後、イベント発生前に未実行であったスクリプトを実行します。
KillProcess	Process コマンドによって起動した外部実行モジュールを強制終了します。
識別名	Process コマンドで指定した識別名を記述します。

コマンド	パラメータ	説明
Link		新しい Form (画面) を表示します。
識別名		新しい Form (画面) の識別名を記述します。
効果		以下の一覧のいずれかを記述します。
(省略)		新しい Form (画面) を表示します。(アニメーションなし)
Clear		一旦背景画像のみを表示した後、新しい Form (画面) を表示します。
Fade		新しい Form (画面) がフェードインします。
SlideIn		新しい Form (画面) が右からスライドインします。
SlideOut		現在の Form (画面) が左へスライドアウトします。
ZoomIn		新しい Form (画面) がタッチ (クリック) した位置から現れます。
ZoomOut		現在の Form (画面) がタッチ (クリック) した位置へ向かって消えます。
Load		各種データを読み込みます。
種類		以下の一覧のいずれかを記述します。
Data		データ抽出用の変数に設定されている条件で Sections (内線データ) を読み込みます。(識別名は使用しません)
Element		識別名で指定された Element (画面要素) を読み込み画面に表示します。
HTML		識別名で指定された HTML (Web ページ) を読み込み画面に表示します。
識別名		読み込むデータを特定する識別名を記述します。
Monitor		ディスプレイモニタの電源 (省電力モード) の設定を行います。
スイッチ		以下の一覧のいずれかを記述します。
On		ディスプレイモニタの電源を On にします。(省電力モード解除)
Off		ディスプレイモニタの電源を Off にします。(省電力モード設定)
MoveDataIndex		読み込まれている Sections (内線データ) の参照位置 (システム変数「DataIndex」の値) を移動します。
移動数		参照位置を移動するデータ数を記述します。正数は後方へ、負数は前方へ移動します。
Mul		変数の値を指定された数値で乗算します。
変数名		対象の変数名を記述します。
値		乗算する値を記述します。
Navigate		HTML (Web ページ) で表示する Web ページの URL を変更します。
識別名		対象の HTML (Web ページ) の識別名を記述します。
URL		表示する Web ページの URL を記述します。
OffHock		擬似的に受話器を取った状態にします。
OnHock		回線を切断します。
ProgramEnd		コンコンコールを終了します。
Process		パラメータで指定された実行モジュールを起動します。コンコンコールの実行は継続します。
識別名		実行モジュールを特定する識別名を記述します。
ファイル名		実行モジュールのファイル名を記述します。
パラメータ		実行モジュールに渡す起動コマンドラインオプションを記述します。
RaiseEvent		Form のイベントを強制的に発生させます。
種類		イベント名 (Activate、Touch、TimeOut、SensorIn、SensorOut、OffHock、OnHock、Connect、Disconnect、Modem のいずれか) を記述します。

2.システムメンテナンス

コマンド	
パラメータ	説明
ReceiveModem	モデムからの応答を待ちます。
Refresh	画面を再描画します。
Reset	各種状態をリセットします。
種類	以下の一覧のいずれかを記述します。 Application コンコンコールのメインプログラムを再起動します。 Events 実行待ちのスクリプトを破棄します。 Timer 無操作時間をリセットします。 System コンピューターを再起動します。
Rotate	変数に格納されている複数行の文字列の先頭行を末尾に移動します。
変数名	対象の変数名を記述します。
回数	移動する回数を記述します。
Round	変数の値を四捨五入します。
変数名	対象の変数名を記述します。
桁数	四捨五入する小数点以下の桁数を記述します。
Save	変数の値をデータベースに保存します。
変数名	対象の変数名を記述します。
SendCommControl	インターフェイスボードの制御線の制御を行います。
パラメータ	以下の一覧のいずれかを記述します。 SETRTS インターフェイスボード(メイン)の RTS 信号線を On にします。 CLRRTS インターフェイスボード(メイン)の RTS 信号線を Off にします。 SETDTR インターフェイスボード(メイン)の DTR 信号線を On にします。 CLRDTR インターフェイスボード(メイン)の DTR 信号線を Off にします。 SETMAINRTS インターフェイスボード(メイン)の RTS 信号線を On にします。 CLRMAINRTS インターフェイスボード(メイン)の RTS 信号線を Off にします。 SETMAINDTR インターフェイスボード(メイン)の DTR 信号線を On にします。 CLRMAINDTR インターフェイスボード(メイン)の DTR 信号線を Off にします。 SETSUBRTS インターフェイスボード(サブ)の RTS 信号線を On にします。 CLRSUBRTS インターフェイスボード(サブ)の RTS 信号線を Off にします。 SETSUBDTR インターフェイスボード(サブ)の DTR 信号線を On にします。 CLRSUBDTR インターフェイスボード(サブ)の DTR 信号線を Off にします。
SendControl	インターフェイスボードの制御を行います。
種類	以下の一覧のいずれかを記述します。 Audio 電話回線への音声出力状態を変更します。 Contact1 接点出力1の出力状態を変更します。 Contact2 接点出力2の出力状態を変更します。 Detect 回線極性検知の状態を変更します。 Handset 受話器の回線への接続状態を変更します。 Speaker スピーカーの音声出力状態を変更します。
スイッチ	以下の一覧のいずれかを記述します。 On 状態を On(有効)に設定します。 Off 状態を Off(無効)に設定します。
時間	種類で「Contact1」または「Contact2」が指定された場合に、状態が復帰するまでの秒数を記述します。省略または「0」を記述した場合は状態の復帰は行いません。

コマンド	パラメータ	説明								
SendModem	AT コマンド	インターフェイスボードのモデムに対し AT コマンドを送ります。 モデムに送る AT コマンドを記述します。								
SendProcess	識別名 パラメータ	「Process」コマンドにより起動した実行モジュールに対しデータを送信します。 実行モジュールを特定する識別名を記述します。 実行モジュールに渡すデータを記述します。								
SendSocket	パラメータ	ネットワーク通信で接続されたソケットにデータを送信します。 送信するデータを記述します。								
SendWinMessage	識別名 パラメータ	WM_COPYDATA メッセージを送信します。 送信先を識別するウィンドウタイトルを記述します。 送信するデータを記述します。 COPYDATA 構造体に設定される値は以下の通りです。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>dwData</td> <td>「1」固定</td> </tr> <tr> <td>cbData</td> <td>lpData のバイト数</td> </tr> <tr> <td>lpData</td> <td>UTF-8 でエンコードしたパラメータで指定された文字列</td> </tr> </table>	dwData	「1」固定	cbData	lpData のバイト数	lpData	UTF-8 でエンコードしたパラメータで指定された文字列		
dwData	「1」固定									
cbData	lpData のバイト数									
lpData	UTF-8 でエンコードしたパラメータで指定された文字列									
Set	変数名 パラメータ	変数に値を設定します。 対象の変数名を記述します。 設定する値を記述します。								
Shift	変数名 回数	変数に格納されている複数行の文字列の先頭行を削除します。 対象の変数名を記述します。 削除する回数を記述します。								
Show	種類 パラメータ 1 パラメータ 2	画面に表示される各種オブジェクトを表示します。 以下の一覧のいずれかを記述します。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>Background</td> <td>背景画像を表示します。 パラメータ 1 に背景画像 (Background) の識別名を指定することで任意の背景画像を表示できます。 パラメータ 2 は使用しません。</td> </tr> <tr> <td>MessageBox</td> <td>ステータスウィンドウを表示します。 パラメータ 1 で指定された文字列がステータスウィンドウ内に表示されます。 パラメータ 2 は使用しません。</td> </tr> <tr> <td>Element</td> <td>Element (画面要素) を表示します。 パラメータ 1 に表示する Element (画面要素) の識別名を指定します。 パラメータ 2 に表示する位置を「Left,Top,Width,Height」の形式で指定します。(省略可能)</td> </tr> <tr> <td>Screen</td> <td>メインウィンドウを表示します。パラメータ 1、パラメータ 2 は使用しません。</td> </tr> </table> パラメータ 1 種類の説明で指示された値を記述します。 パラメータ 2 種類の説明で指示された値を記述します。	Background	背景画像を表示します。 パラメータ 1 に背景画像 (Background) の識別名を指定することで任意の背景画像を表示できます。 パラメータ 2 は使用しません。	MessageBox	ステータスウィンドウを表示します。 パラメータ 1 で指定された文字列がステータスウィンドウ内に表示されます。 パラメータ 2 は使用しません。	Element	Element (画面要素) を表示します。 パラメータ 1 に表示する Element (画面要素) の識別名を指定します。 パラメータ 2 に表示する位置を「Left,Top,Width,Height」の形式で指定します。(省略可能)	Screen	メインウィンドウを表示します。パラメータ 1、パラメータ 2 は使用しません。
Background	背景画像を表示します。 パラメータ 1 に背景画像 (Background) の識別名を指定することで任意の背景画像を表示できます。 パラメータ 2 は使用しません。									
MessageBox	ステータスウィンドウを表示します。 パラメータ 1 で指定された文字列がステータスウィンドウ内に表示されます。 パラメータ 2 は使用しません。									
Element	Element (画面要素) を表示します。 パラメータ 1 に表示する Element (画面要素) の識別名を指定します。 パラメータ 2 に表示する位置を「Left,Top,Width,Height」の形式で指定します。(省略可能)									
Screen	メインウィンドウを表示します。パラメータ 1、パラメータ 2 は使用しません。									
ShowMessage	パラメータ	ステータスウィンドウを表示します。 ステータスウィンドウ内に表示する文字列を記述します。								

2.システムメンテナンス

コマンド	
パラメータ	説明
Sleep	システムを停止状態にし、ディスプレイモニタの電源を Off にします。
Sound	効果音(Sounds)に登録された音声データを再生します。
識別名	再生する効果音(Sounds)の識別名を記述します。
スイッチ	以下の一覧のいずれかを記述します。 (省略) SendControl コマンドで設定されたデバイスに音声を出力します。 Speaker スピーカーのみに音声を出力します。 Telephone 電話回線のみに音声を出力します。
Sub	変数の値を指定された数値で減算します。
変数名	対象の変数名を記述します。
値	減算する値を記述します。
Suspend	インターフェイスボードの各種センサー検知によるイベントの発生を一時停止します。停止が解除された時点では各種センサーの状態のイベントは発生しません。
種類	以下の一覧のいずれかを記述します。 Sensor 人感センサー全てのイベント発生を無効化します。 Sensor1 人感センサー1 のイベント発生を無効化します。 Sensor2 人感センサー2 のイベント発生を無効化します。 Sensor3 人感センサー3(オプションセンサー)のイベント発生を無効化します。 SensorEX 人感センサー3(オプションセンサー)のイベント発生を無効化します。 OffHock 受話器のフック検知センサーのイベント発生を無効化します。 OnHock 受話器のフック検知センサーのイベント発生を無効化します。 Handset 受話器のフック検知センサーのイベント発生を無効化します。 Connect 極性反転検知センサーのイベント発生を無効化します。 Disconnect 極性反転検知センサーのイベント発生を無効化します。 Talking 極性反転検知センサーのイベント発生を無効化します。
時間	停止する秒数を記述します。
Unload	画面に表示される各種データを開放します。
種類	以下の一覧のいずれかを記述します。 Element 識別名で指定された Element (画面要素)を開放します。 HTML 識別名で指定された HTML (Web ページ)を開放します。
識別名	解放するデータを特定する識別名を記述します。
Video	動画ファイルを再生します。
動画ファイル名	再生する動画のファイル名を記述します。
音量	再生する動画の音量を 0~150 の範囲で記述します。(省略時は 100 と同等)
再生領域	再生する動画の位置を「 Left,Top,Width,Height 」の形式で指定します。(省略可能)

コマンド	パラメータ	説明
Wait		条件が満たされている間処理を一時停止します。
	条件	以下の一覧のいずれかを記述します。
	(秒数)	指定された秒数の間停止します。パラメータは使用しません。
	Dial	モデムがダイヤル処理中の間停止します。パラメータは使用しません。
	If	パラメータで指定された条件式が満たされている間停止します。条件式の詳細は「If」コマンドを参照してください。
	LineReverse	電話回線の極性がパラメータで指定された状態の間停止します。パラメータには「On」(極性反転している間)または「Off」(極性反転していない間)を記述します。
	OffHock	受話器が上がっている間(オフフック状態)停止します。パラメータは使用しません。
	OnHock	受話器が置かれている間(オンフック状態)停止します。パラメータは使用しません。
	Process	「Process」コマンドで起動された実行モジュールが実行中の間停止します。パラメータには実行モジュールを特定する識別名を記述します。
	Talk	通話中の間停止します。パラメータは使用しません。
	Video	動画が再生中の間停止します。パラメータは使用しません。
	パラメータ	条件の説明で指示された値を記述します。
Wakeup		システムの停止状態を解除し、ディスプレイモニタの電源を On にします。
WriteLog		ログを出力します。
	パラメータ	以下の一覧のいずれかを記述します。
	Dial	通話ログを出力します。通話ログはデータベースが存在するフォルダ内の「DialLog」フォルダに日付ごとのファイルとして記録されます。また、変数「CallLogDBFilename」に設定されている通話履歴データへも同時に記録されます。
	(文字列)	動作ログに指定された文字列を出力します。動作ログはデータベースが存在するフォルダ内にファイル「Event.log」として保存されます。

◆ システム変数

コンコンコールでは、アプリケーションの動作の設定や状態を取得するためのシステム変数があります。システム変数も通常の変数と同様に各種データのパラメータやスクリプト中で使用することができます。

システム変数の一覧を以下に示します。

システム変数名	内容
ActiveForm	現在表示されている Form (画面) の識別名。
CallNumber	選択された Sections (内線データ) の CallNumbers の 1 行目。
CallNumbers	選択された Sections (内線データ) の CallNumbers。
CallNumber(<i>n</i>)	選択された Sections (内線データ) の CallNumbers の <i>n</i> 行目。
CallNumbersFilter	Sections (内線データ) 抽出条件の CallNumbers 条件。
Color	選択された Sections (内線データ) の Color。
DataCount	現在抽出されている Sections (内線データ) の数。
DataIndex	現在抽出されている Sections (内線データ) の参照位置。
Day	現在日付の日。(「01」～「31」)
Hour	現在時刻の時。(「00」～「23」)
HTMLDocumentTitle	HTML (Web ページ) で表示されたコンテンツのタイトル
Index	選択された Sections (内線データ) の Index。
Initial	選択された Sections (内線データ) の Initial。
InitialFilter	Sections (内線データ) 抽出条件の Initial 条件。
IOOffHock	受話器のフック状態。(「0」=オンフック、「1」=オフフック)
IOOnHock	受話器のフック状態。(「0」=オフフック、「1」=オンフック)
IOSensor	人感センサーの状態。(「0」=すべての人感センサーが非検知、「1」=何れかの人感センサーが検知)
IOSensor1	人感センサー1 の状態。(「0」=非検知、「1」=検知)
IOSensor2	人感センサー2 の状態。(「0」=非検知、「1」=検知)
IOSensorEx	人感センサー3 (オブションセンサー) の状態。(「0」=非検知、「1」=検知)
IOTalking	通話状態。(「0」=非通話、「1」=通話)
IsIndex	Element (画面要素) に関連付けられた Sections (内線データ) の Index の値の有無。(「0」=無、「1」=有)
IsCallNumbers	Element (画面要素) に関連付けられた Sections (内線データ) の CallNumbers の値の有無。(「0」=無、「1」=有)
IsColor	Element (画面要素) に関連付けられた Sections (内線データ) の Color の値の有無。(「0」=無、「1」=有)
IsEnabled	Element (画面要素) の Enable。(「0」=False、「1」=True)
IsName	Element (画面要素) に関連付けられた Sections (内線データ) の Name の値の有無。(「0」=無、「1」=有)
IsOptions	Element (画面要素) に関連付けられた Sections (内線データ) の Options の値の有無。(「0」=無、「1」=有)
IsPushed	Element (画面要素) の押し下げ状態。(「0」=通常、「1」=押し下げ)




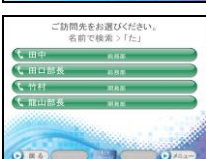
システム変数名	内容
IsSection1	Element(画面要素)に関連付けられた Sections(内線データ)の Section1 の値の有無。 (「0」=無、「1」=有)
IsSection2	Element(画面要素)に関連付けられた Sections(内線データ)の Section2 の値の有無。 (「0」=無、「1」=有)
IsSection3	Element(画面要素)に関連付けられた Sections(内線データ)の Section3 の値の有無。 (「0」=無、「1」=有)
IsSection4	Element(画面要素)に関連付けられた Sections(内線データ)の Section4 の値の有無。 (「0」=無、「1」=有)
IsSection5	Element(画面要素)に関連付けられた Sections(内線データ)の Section5 の値の有無。 (「0」=無、「1」=有)
IsSection6	Element(画面要素)に関連付けられた Sections(内線データ)の Section6 の値の有無。 (「0」=無、「1」=有)
IsVisible	Element(画面要素)の Visible。(「0」=無、「1」=有)
Minute	現在時刻の分。(「00」～「59」)
ModemReturn	モデムの応答メッセージ。
Month	現在日付の月。(「01」～「12」)
Name	選択された Sections(内線データ)の Name。
NameFilter	Sections(内線データ)抽出条件の Name 条件。
Option	選択された Sections(内線データ)の Options の 1 行目。
Options	選択された Sections(内線データ)の Options。
Option(n)	選択された Sections(内線データ)の Options の n 行目。
OptionsFilter	Sections(内線データ)抽出条件の Options 条件。
Page	「Calc」コマンドにより計算されたページ数
Pages	「Calc」コマンドにより計算された総ページ数
Second	現在時刻の秒。(「00」～「59」)
Section1	選択された Sections(内線データ)の Section1。
Section1Filter	Sections(内線データ)抽出条件の Section1 条件。
Section2	選択された Sections(内線データ)の Section2。
Section2Filter	Sections(内線データ)抽出条件の Section2 条件。
Section3	選択された Sections(内線データ)の Section3。
Section3Filter	Sections(内線データ)抽出条件の Section3 条件。
Section4	選択された Sections(内線データ)の Section4。
Section4Filter	Sections(内線データ)抽出条件の Section4 条件。
Section5	選択された Sections(内線データ)の Section5。
Section5Filter	Sections(内線データ)抽出条件の Section5 条件。
Section6	選択された Sections(内線データ)の Section6。
Section6Filter	Sections(内線データ)抽出条件の Section6 条件。
Sections	選択された Sections(内線データ)の Section1～Section5 を結合した値。
Year	現在日付の年。(「0001」～「9999」)



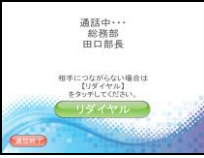


6) カスタマイズにおける補足事項

◆ Forms の対応画面について

標準仕様での画面です。カスタマイズを行っている場合は一致しないことがあります。

対応画面はアクア調の日本語画面です。各国語画面が存在する場合は「Name」の末尾で識別します。(JA=日本語、EN=英語、CHS=簡体中国語、CHT=繁体中国語、KO=韓国語)

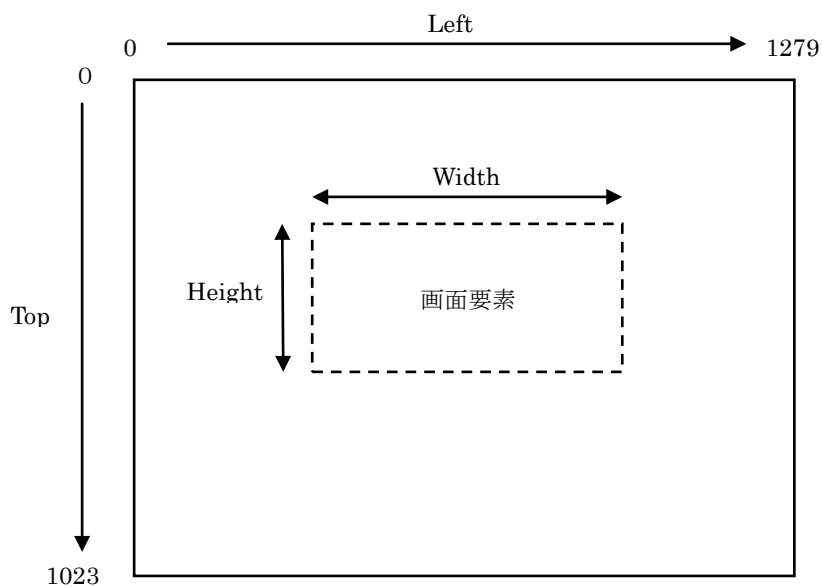
Index	Name	対応画面	備考
0001	Startup		起動時はここからスタートします。通常は表示されません。 Activate タブの内容を実行後、TopForm 画面に移行します。
0002	TopForm		言語選択状況やカスタマイズによる初期画面振り分けの為の画面です。通常は表示されません。
0003	Video		動画画面です。
0004	TitleJA		タイトル画面です
0014	TitleEN		
0024	TitleCHS		
0034	TitleCHT		
0044	TitleKO		
0005	MenuJA		メニュー画面です。
0015	MenuEN		
0025	MenuCHS		
0035	MenuCHT		
0045	MenuKO		
0006	SectionJA		部門検索画面です。
0016	SectionEN		
0026	SectionCHS		
0036	SectionCHT		
0046	SectionKO		
0007	InitialJA		頭文字選択画面です。
0017	InitialEN		
0027	InitialCHS		
0037	InitialCHT		
0047	InitialKO		
0008	NameJA		絞り込み検索画面です。 カスタマイズにより絞り込み検索を利用する場合に表示されます。
0018	NameEN		
0028	NameCHS		
0038	NameCHT		
0048	NameKO		
0009	PersonJA		担当者検索画面です。
0019	PersonEN		
0029	PersonCHS		
0039	PersonCHT		
0049	PersonKO		

Index	Name	対応画面	備考
0010	NumberJA		内線番号入力画面です。 標準仕様ではアクア調のみ表示されます。
0020	NumberEN		
0030	NumberCHS		
0040	NumberCHT		
0050	NumberKO		
0011	DialJA		呼び出し中画面です。
0021	DialEN		
0031	DialCHS		
0041	DialCHT		
0051	DialKO		
0012	TalkJA		通話中画面です。
0022	TalkEN		
0032	TalkCHS		
0042	TalkCHT		
0052	TalkKO		
0013	DoorJA		ドア開錠画面です。 電気開錠オプションを利用する場合に表示されます。
0023	DoorEN		
0033	DoorCHS		
0043	DoorCHT		
0053	DoorKO		
0054	Dummy		画面要素を作成しておき、スクリプト中の「Load」コマンドで読み込んで表示する場合などに使用します。通常は表示されません。

◆ Elements (画面要素)、HTMLs (Web) の配置位置について

画面及び画面要素の基準は左上となっています。(画面の左上が Left=0, Top=0、右下が Left=1279, Top=1023)

画面要素のサイズを Width と Height で設定します。



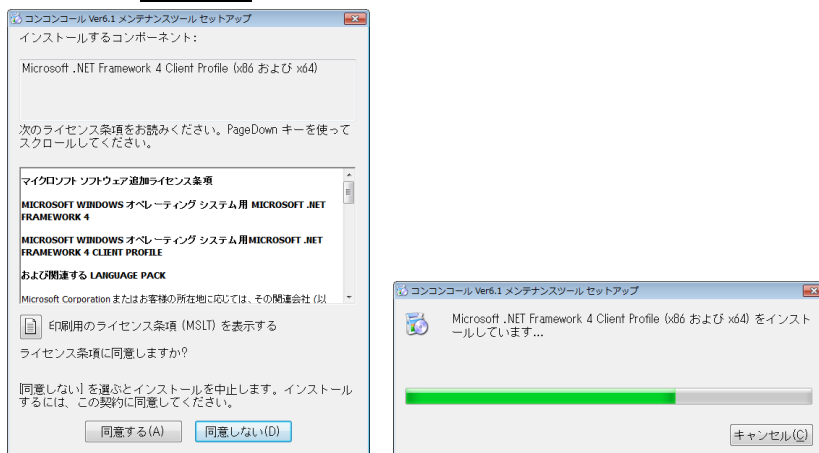
画面サイズが15インチの場合は 1024×768 ピクセルにリサイズして表示します。

3 お手持ちのパソコンでデータをメンテナンスする

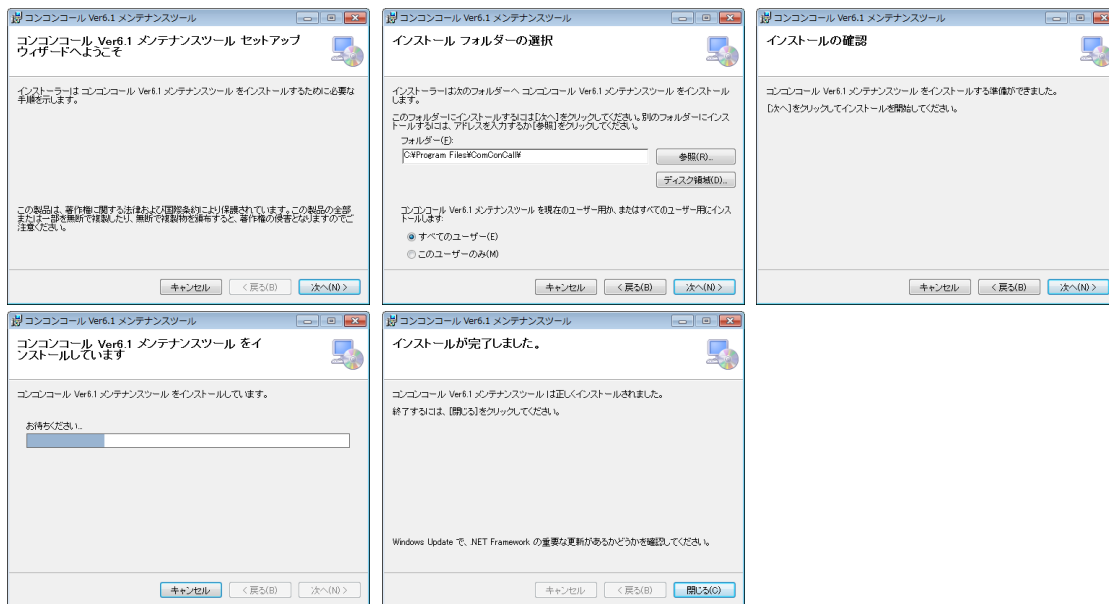
お手持ちのパソコンにメンテナンスツールをインストールして、データのメンテナンスを行うことができます。

◆ メンテナンスツールのインストール

- ① データのメンテナンス用に用意したパソコンに、コンコンコール セットアップ CD-ROM を挿入します。
- ② CD-ROM の自動再生機能によりセットアップが起動します。セットアップが自動的に起動しない場合は、Windows の「スタート」メニューから **プログラムとファイルの検索** に「D:¥Setup¥Setup.exe」と入力して **Setup.exe** を実行してください。(CD-ROMドライブが D:の場合)
- ③ 本プログラムは Microsoft .NET Framework 4 を必要とします。使用する端末にインストールされていない場合は Microsoft .NET Framework 4 のインストール画面が表示されます。ライセンス条項を確認の上 **同意する(A)** をクリックしてインストールしてください。
インストール途中にユーザーアカウント制御で「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示された場合は **はい(Y)** をクリックしてください。

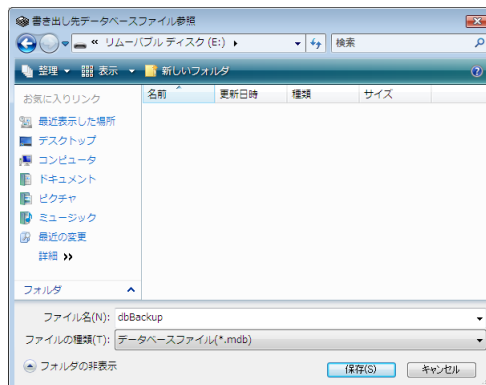


- ④ 「セットアップウィザードへようこそ」のウィンドウが表示されたら **次へ(N)** をクリックします。
インストール先のフォルダを指定し、インストールするユーザーのタイプを指定します。
インストール途中にユーザーアカウント制御で「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示された場合は **はい(Y)** をクリックしてください。
セットアップが終了し、「セットアップの完了」のウィンドウが表示されたら **閉じる(C)** をクリックします。



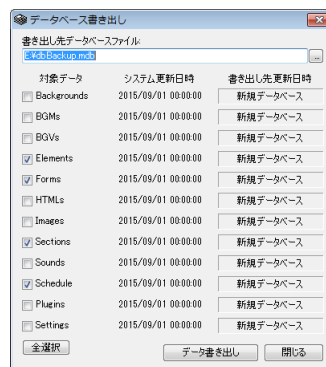
◆ USBメモリ等を使用する場合

- ① メンテナンスツールをインストールした端末のコンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ② データを編集します。
- ③ メニューバーから **ファイル(F)ー外部データベース書き出し(バックアップ)** を選択します。
- ④ 保存先ディレクトリ、ファイル名を指定し **保存** をクリックします。(保存先をUSBメモリ等に設定します。)



参考: スケジュール運転管理の場合はメニューバーより **ツール(T)ー外部データベース書き出し(W)** を選択します。

- ⑤ 編集した対象データを選択して **データ書き出し** をクリックします。



- ⑥ 書き出し終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。
- ⑦ USBメモリ等をコンコンコール本体にセットします。
- ⑧ 画面の3点タッチより、**データ取り込み** をクリックします。

参考: パスワードや指紋認証付きの USB メモリを使用している場合は、画面の3点タッチより Windows 画面に戻り USB メモリのロックを解除した後、コンコンコールシステムメンテナンスを起動し、**ファイル(F)ー外部データベース取り込み(復旧)** を選択してデータを取り込んでください。

3.お手持ちのパソコンでデータをメンテナンスする

- ⑨ データ取り込みダイアログが開き、データの検索が始まります。手動で取り込むデータを指定する場合は、**検索中止** をタッチして目的のデータを指定してください。



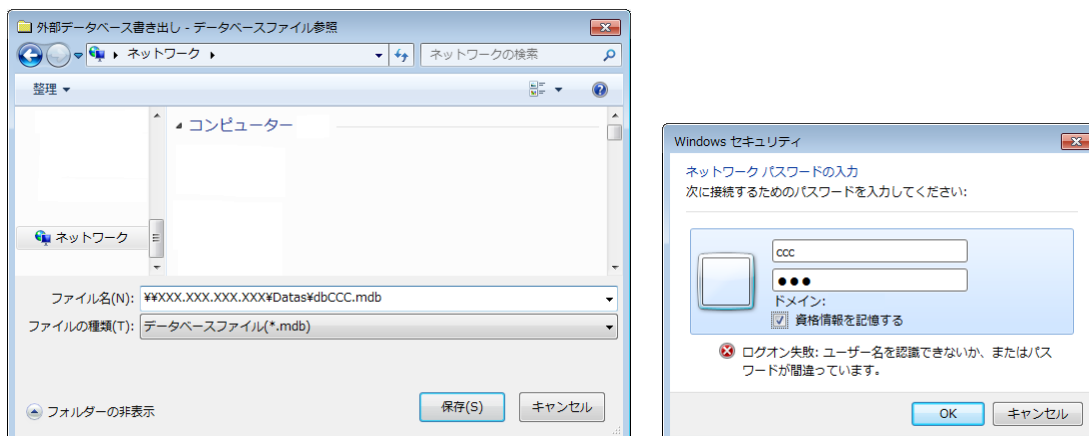
- ⑩ 目的のデータが表示されたら、取り込む項目をクリックして、**取り込み** をクリックします。目的のデータベースが「参照先データベースファイル名」の一覧に表示されない場合は **再検索** をクリックするか、「参照先データベースファイル名」の一覧から「その他のデータベースファイルを参照...」を選択して直接データベースファイルを指定してください。



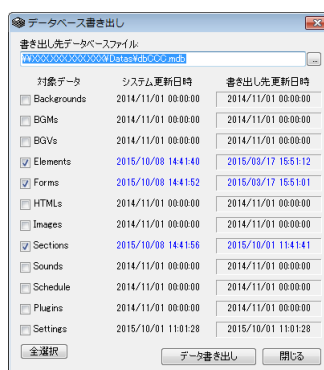
- ⑪ データベースの最適化が行われ、プログラムが再起動します。
⑫ データが更新されているか確認してください。

◆ ネットワークに接続している場合

- ① メンテナンスツールをインストールした端末のコンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ② データを編集します。
- ③ メニューバーから **ファイル(F)→外部データベース書き出し(バックアップ)** を選択します。
- ④ **ファイル名(N)** に「¥¥XXX.XXX.XXX.XXX¥Datas¥dbCCC.mdb」を入力し **保存(S)** をクリックします。
(XXX.XXX.XXX.XXX はコンコンコール本体に設定したIPアドレス)
「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示される場合がありますが、この場合 **ユーザー名** に「ccc」、**パスワード** に「ccc」を入力し、**資格情報を記憶する** にチェックを入れてください。



- ⑤ 編集した対象データを選択して **データ書き出し** をクリックします。



- ⑥ 書き出し終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。

参考: スケジュール運転管理の場合はメニューバーより **ツール(T)→外部データベース書き出し(W)** を選択します。

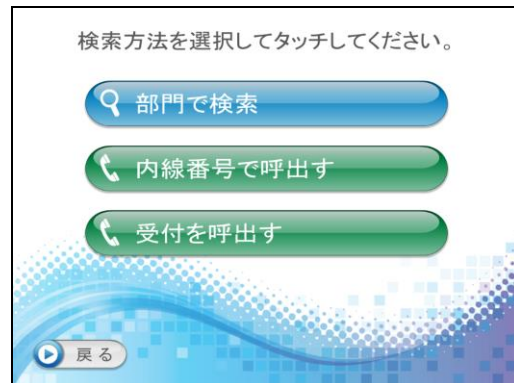
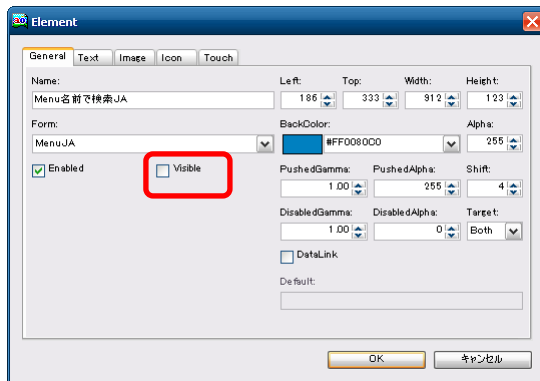
4 コンコンコールのカスタマイズ例

ここでは、コンコンコールをより快適にお使い頂くため、いくつかカスタマイズの設定手順をご紹介します。

1) 名前で検索機能を無効にする

メニュー画面の「名前で検索」ボタンを表示しないよう設定し、機能を制限します。

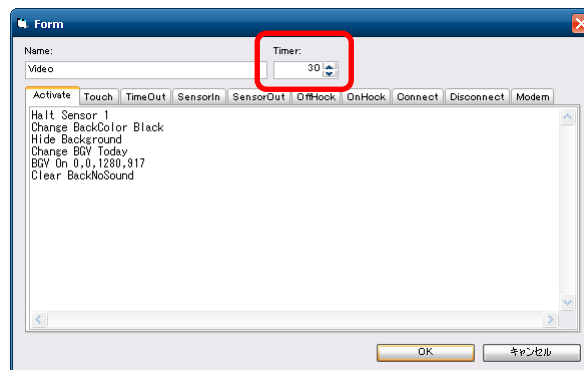
- ① コンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ② 登録情報フォルダの「Datas」-「Elements」フォルダを選択し、登録内容一覧で Name 欄が「Menu 名前で検索 JA」のデータをダブルクリックで開きます。
- ③ General タブの Visible のチェックを外し、**OK** をクリックします。
- ④ 日本語以外の画面も変更する場合は、登録内容一覧で Name 欄が「Menu 名前で検索 EN」(英語)、「Menu 名前で検索 CHS」(簡体中国語)、「Menu 名前で検索 CHT」(繁体中国語)、「Menu 名前で検索 KO」(韓国語)のデータも同様に変更します。
- ⑤ システムメンテナンスを終了します。
- ⑥ コンコンコールを起動し、メニュー画面にボタンが表示されないことを確認します。



2) 無人時に省電力モードで待機する

動画画面で一定時間来訪者が無い場合、ディスプレイモニタを省電力モードにして待機します。

- ① コンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ② 登録情報フォルダの「Datas」-「Forms」フォルダを選択し、登録内容一覧で Name 欄が「Video」のデータをダブルクリックで開きます。
- ③ Timer 欄に省電力モードへ切り替えるまでの秒数を設定し、**OK** をクリックします。値が「0」の場合は省電力モードに移行しません。

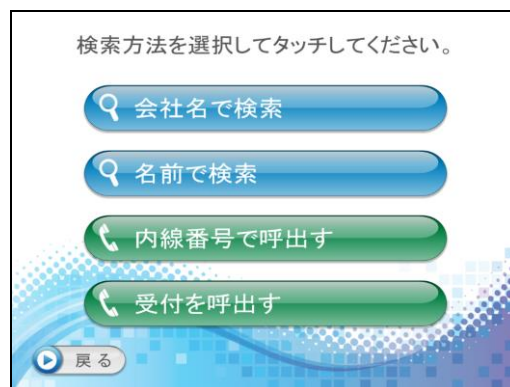
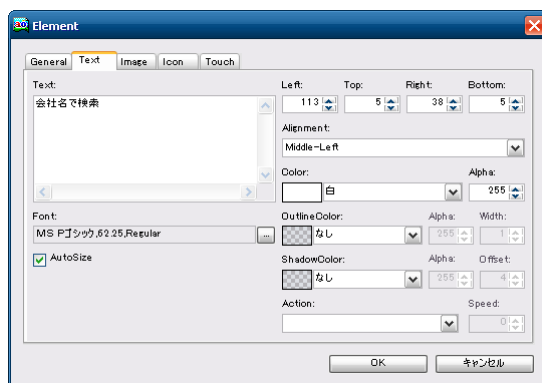


- ④ システムメンテナンスを終了します。
- ⑤ コンコンコールを起動し、動画画面から指定時間後ディスプレイモニタの表示が消え、また人感センサーまたは画面をタッチすることでディスプレイモニタの表示が復帰することを確認します。

3) メニュー画面のボタン名称を変更する

複数の会社で使用する場合など、「部門で検索」ボタンを「会社名で検索」に変更します。

- ① コンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ② 登録情報フォルダの「Datas」-「Elements」フォルダを選択し、登録内容一覧でName欄が「Menu 部門で検索 JA」のデータをダブルクリックで開きます。
- ③ Text タブの Text 欄を「会社で検索」に変更し、**OK** をクリックします。
- ④ 日本語以外の画面も変更する場合は、登録内容一覧で Name 欄が「Menu 名前で検索 EN」(英語)、「Menu 名前で検索 CHS」(簡体中国語)、「Menu 名前で検索 CHT」(繁体中国語)、「Menu 名前で検索 KO」(韓国語)のデータも同様に変更します。
- ⑤ システムメンテナンスを終了します。
- ⑥ コンコンコールを起動し、「会社名で検索」に変更されていることを確認します。



4) 言語選択ボタンを追加して多言語対応にする

タイトル画面に言語選択ボタンを表示し、多言語対応にします。標準で対応している言語は日本語、英語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語です。

「English」ボタンをタッチすることによって、表記・アナウンスが英語に変わります。

- ① コンコンコールデータメンテナンスを起動します。
- ② 最上位階層に下表のとおり対応する言語に応じたデータを作成します。

言語	部門検索用データ	直通電話用データ
日本語	検索部門	直通電話
英語	SearchSection	DirectCall
簡体中国語	搜索部門	直拨电话
繁体中国語	搜索部門	直撥電話
韓国語	검색부문	직통전화

(検索方法選択画面で「総合受付」ボタンを表示しない設定の場合、「直通電話用データ」は必要ありません。)

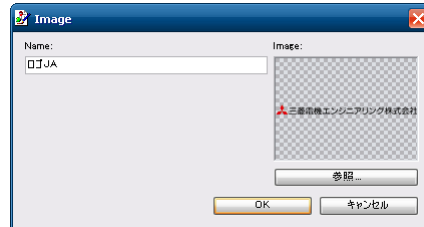
- ③ 「部門検索用データ」の下階層に各国言語で部門・担当者のデータを登録します。
- ④ 「直通電話用データ」の下階層に各国言語で総合案内のデータを作成します。
- ⑤ 保存し、データメンテナンスを終了します。
- ⑥ コンコンコールを起動し、タイトル画面に言語選択ボタンが追加されていることを確認します。



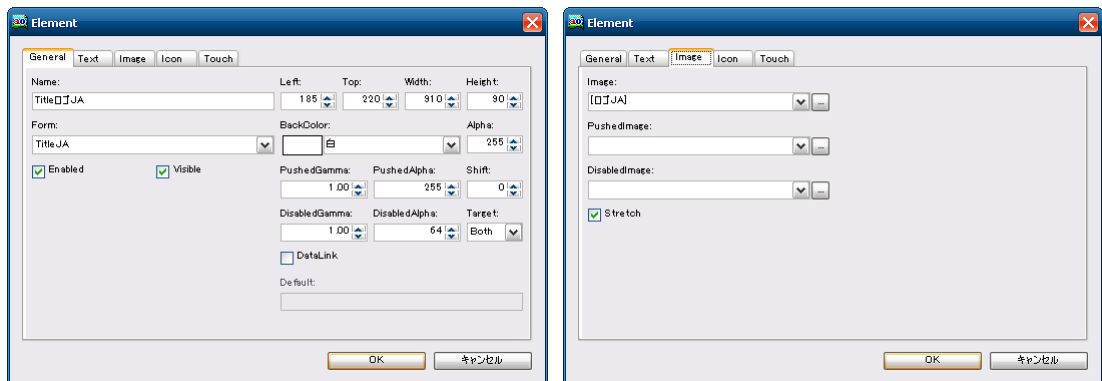
5) タイトル画面の組織名をロゴ(画像)に変更する

タイトル画面の「〇〇〇〇へ」をロゴに変更します。

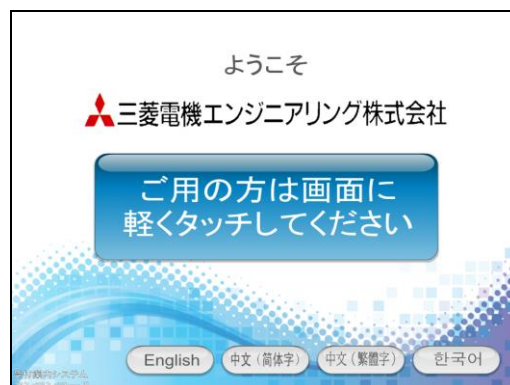
- ① ロゴの画像を用意します。背景を透明にできる PNG 方式で作成すると見栄えが良くなります。表示サイズは 1280×1024 ピクセル以内としてください。
- ② コンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ③ 登録情報フォルダの「Datas」-「Images」フォルダを選択し、新規作成します。
- ④ **参照** をクリックして用意した画像を選択し、**OK** をクリックします。



- ⑤ 登録情報フォルダの「Datas」-「Elements」フォルダを選択し、新規作成します。
- ⑥ **General** タブの **Name** 欄を入力し、**Form** 欄で「TitleJA」を選択し、**Left・Top・Width・Height** を入力し、**BackColor** 欄で白を選択します。**Left・Top** は画像の左上位置、**Width・Height** は画像の表示サイズです。
- ⑦ **Image** タブの **Image** 欄で④で登録した画像を選択し、**OK** をクリックします。**Stretch** にチェックを入れると **Width・Height** で指定したサイズに画像をリサイズして表示します。



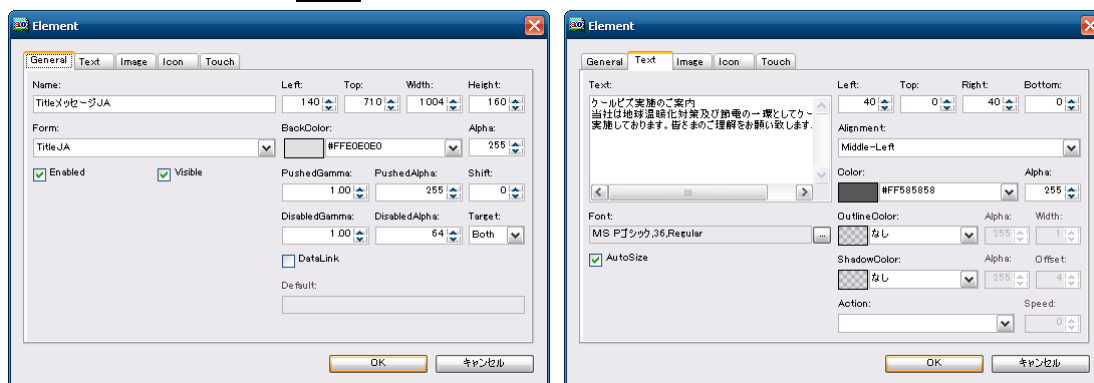
- ⑧ 登録情報フォルダの「Datas」-「Elements」フォルダを選択し、登録内容一覧で **Name** 欄が「Title メッセージ 中段_日本語」のデータをダブルクリックで開きます。
- ⑨ **General** タブの **Visible** のチェックを外して **OK** をクリックします。
- ⑩ 日本語以外の画面も変更する場合は、同様に各国語用ロゴ画像を登録し、各国語用 **Element** (画面要素) データを追加・変更します。
- ⑪ システムメンテナンスを終了します。
- ⑫ コンコンコールを起動し、ロゴが表示されることを確認します。



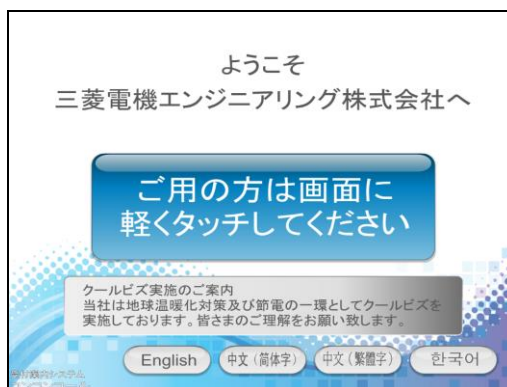
6) 画面にメッセージを追加する

任意の画面にメッセージを追加します。例としてタイトル画面にクールビズの案内を表示します。

- ① コンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ② 登録情報フォルダの「Datas」-「Elements」フォルダを選択し、新規作成します。
- ③ General タブの Name 欄を入力し、Form 欄で「Title」を選択し、Left・Top・Width・Height を入力します。Left・Top はメッセージ表示領域の左上位置、Width・Height はメッセージ表示領域の表示サイズです。お好みにより BackColor(背景色) 欄や Image タブの Image 欄を変更して表示領域を装飾します。
- ④ Text タブの Text 欄にクールビズの案内を入力して Font 欄で文字のフォントや大きさを設定します。AutoSize にチェックを入れると、表示領域に収まらない場合に縮小して表示します。Left・Top・Width・Height で余白を設定します。Color 欄で文字色を変更し、**OK** をクリックします。



- ⑤ 日本語以外の画面も変更する場合は、同様に各国語用 Element(画面要素) データを追加します。
- ⑥ システムメンテナンスを終了します。
- ⑦ コンコンコールを起動し、メッセージが表示されることを確認します。



- ※ 文字に縁取りを付けたり、文字をスクロールして表示することも可能です。詳細は Elements (画面要素) フォルダ項目を参照してください。

7) 動画を変更する

標準仕様の動画を用意した動画に変更します。

- ① 動画ファイルを用意します。
 画像サイズ.....1024×768 ピクセル(15インチモデル推奨)
 1280×1024 ピクセル(17インチモデル推奨)
 異なる画像サイズでも登録可能です。その場合はリサイズして表示します。
 ワイド(16:9)で表示させる場合は下項を参照してください。
 ファイル形式.....MPEG1(.mpg)
- ② 用意した動画ファイルを C:\Program Files\ComConCall\Data フォルダ内に移動します。
- ③ コンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ④ 登録情報フォルダの「Datas」-「BGVs」フォルダを選択し、新規作成します。
- ⑤ **参照** をクリックして C:\Program Files\ComConCall\Data フォルダ内の動画ファイルを選択します。
 プレビューに動画が再生されることを確認し、**OK** をクリックします。
- ⑥ 標準で登録されているデータ(Index0001~0004)を削除します。



- ⑦ システムメンテナンスを終了します。
- ⑧ コンコンコールを起動し、動画が再生されることを確認します。

※ ワイド(16:9)で動画を表示させる場合

- ① コンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ② 登録情報フォルダの「Datas」-「Forms」フォルダを選択し、登録内容一覧で Name 欄が「Video」のデータをダブルクリックで開きます。
- ③ Activate タブの「BGV On 0,0,1280,917」を「BGV On 0,128,1280,768」に変更します。(15インチモデル)
 Activate タブの「BGV On 0,0,1280,917」を「BGV On 0,152,1280,720」に変更します。(17インチモデル)
- ④ **OK** をクリックし、システムメンテナンスを終了します。
- ⑤ コンコンコールを起動し、動画がワイドで表示されることを確認します。



輸出管理に関するお願い

当システム実現するためのコンピュータやソフトウェアによっては、輸出貿易管理令別表第1の8の項、貨物等省令第7条第一号第八に該当する貨物となりますので、当システム及びパソコンを海外在住者、海外法人など非居住者に提供する場合には、外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第48条第1項に基づく役務取引許可輸出許可が必要となります。

Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows®CE は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

その他、記載されているプログラム名、CPU 名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

受付案内システム カスタマイズ説明書

発行日 2016年1月 (初版発行)

発行責任 三菱電機エンジニアリング株式会社

〒508-0015 岐阜県中津川市手賀野 3-40

本プログラムおよびマニュアルは無断で複製することを禁止します。

本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。

53A952A9701